

学校法人 九州国際大学
平成21年度 事業計画書

学校法人九州国際大学 理事会
平成21年3月26日

予算方針

世界金融経済の混乱により引き続き景気後退が深刻化すると予測され、私学運営も一層厳しい状況となる。

大学においては、平成 20 年度当初より、新規プログラムを打ち出すとともに、学生募集の観点、保護者の教育費用の負担軽減という観点から「学費値下げ」を決定し、募集活動に臨んだものの学生数の減少に歯止めがかかる様相がなく、前年同様の志願者数を確保することに苦慮している。

このような状況下、平成 21 年度の学園運営予算においては、一般経費はもとより人件費削減に継続して取り組み、予測収入に連動して経費総額を削減するといった予算編成方針に基づき予算案を取り纏めるに至った。

－ 平成 21 年度 九州国際大学予算案 －

収入の部		支出の部	
学生生徒等納付金	2,213	人件費総額	2,246
(うち大学)	(1,536)	(うち人件費本体)	(2,237)
(うち高校)	(622)	(うち退職金関係)	(9)
(うち中学)	(56)	減価償却額	448
手数料	53	資産処分差額	3
寄付金	0	徴収不能額	0
補助金	837	現物寄付	0
(うち大学)	(238)	人件費計	2,697
(うち高校)	(544)	①奨学費	318
(うち中学)	(55)	②委託管理費	130
資産運用収入	58	③光熱水費	106
事業収入	85	④賃借料	92
(うち受託事業)	0	⑤旅費交通費	49
(うち補助活動)	(85)	⑥支払報酬費	52
雑収入	35	⑦広告費	35
(うち退職金関係)	(20)	⑧印刷費	49
(うちその他)	(15)	⑨修繕費	25
		⑩消耗品費	41
		⑪借入金利息	18
		⑫学生生徒補助金	29
		⑬通信運搬費	21
		⑭新聞雑誌費	24
		⑮諸会費	17
		⑯渉外費	11
		⑰補助活動支出	114
		⑱福利費	5
		⑲その他経費	15
		経費計	1,151
		予備費	50
収入合計	3,281	支出合計	3,898
		収支差額	▲ 617

<概要>

1. 収入について

(1) 学生生徒納付金

入学定員の確保を最重要目標として、募集活動を実施すると共に「除籍・退学防止」に継続して取り組むことで収入減を抑制する。

(2) 補助金収入

私立大学経常費補助金について、平成 19 年度より補助金配分基準が大幅に見直しされたことにより、一般経常費補助金の「定員割れ学部等に対する減額」が強化され、一般補助については、収入が減少傾向にある。一方、採択型、項目加点型の特別補助金の配分が増加傾向にあるため、これによる獲得機会を活用する。

(3) 資産運用収入

特定目的資産の運用は銀行中心の安全性・流動性重視とする。

施設設備利用料については、利用促進等に努める。

(4) 事業収入

外部資金獲得を推進し、研究費調達の多様化を促進する。

寮費等の未収入金の回収に努める。

2. 支出について

(1) 人件費

「早期退職制度実施」「諸手当見直し」「賞与支給水準見直し」を行い人件費の抑制に努める。

(2) 経費

相対的に費用の大きい「奨学金」「委託管理費」「光熱水費」「賃借料」「補助活動支出」を重点項目として削減に努める。

3. その他

(1) 「建物・構築物・備品・図書」については、事業継続上必要最小限度の投資に止める。

全学事業

1. 中期経営計画

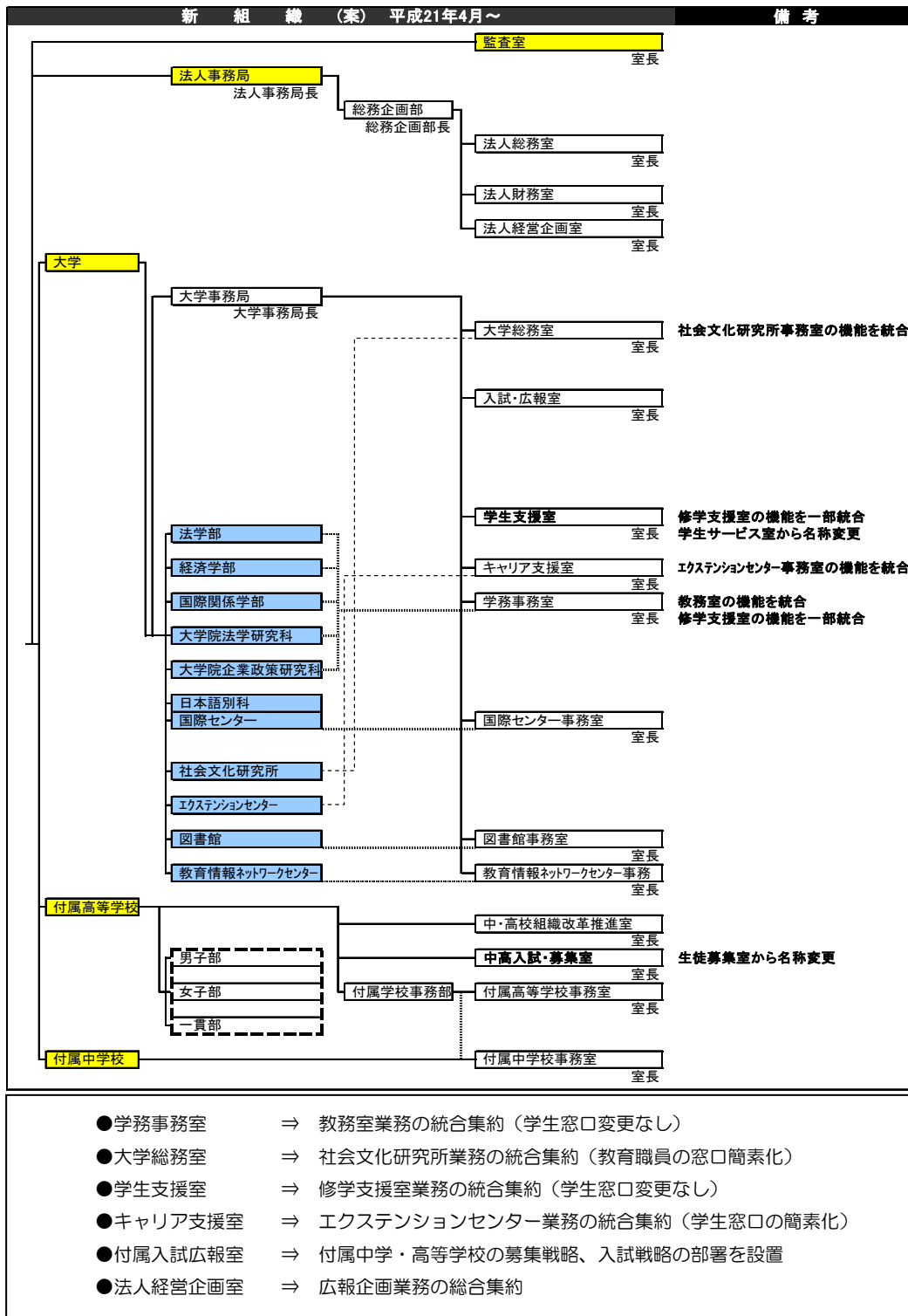
日本私立学校振興・共済事業団の経営相談に基づき、経営改善計画（平成20年度～24年度5ケ年）を立案する。これをもって本法人の「中期経営計画」とする。本法人が設置する各学校においては、前述の中期経営計画に基づき、大学は、「大学中期実行計画（仮）」高等学校は、「付属高等学校に関する統合方針（仮）」、中学校は、「中学校改革方針（仮）」を具体的に策定し、5ケ年計画としてその行動にあたる。対応策として、目的別に部門横断的なプロジェクト・チームを立ち上げ、それぞれの任務にあたり、各プロジェクト・チームによる中期経営計画策定に関する一連の活動を「KIUリノベーション」と銘打ち、プロジェクトの成果として誕生する制度・企画等を「KIU+Plus」として認証して通知し、この表示をすることで、法人内広報の面での認識の統一を推進する。

プロジェクト名称	概要	期間
中期経営計画統括プロジェクト (メインプロジェクト)	各プロジェクトの連携調整・トップダウン指示型プロジェクト。最終的な中期経営計画の責任体制KIU+Plusの認証	平成21年3月1日 ～ 平成22年3月31日
財政再建プロジェクト (サブプロジェクト)	財政再建プランの構築を目指すプロジェクト。メイン・サブプロジェクトの企画を財政面から検証・判断する。	平成21年3月1日 ～ 平成22年3月31日
教学再建プロジェクト (サブプロジェクト) ●広報・募集企画 ●学生・生徒支援 ●教育力向上・連携	中学・高校・大学・法人の実務者レベルの連携による企画・実行管理プロジェクト。 ●広報・募集企画 建学の精神に沿った法人全体に連携が見られるトータルイメージによる募集戦略を立案し、各部門はマーケティングに基づいた募集活動を策定し、その内容を数値目標化し、明確な募集ツールを用いて展開する。 ●学生・生徒支援 キャリア支援、生活指導、課外活動等をそれぞれ単発的に行うのではなく、カリキュラムとの有機的な連携を図り、学生生徒情報の一元化管理を可能とした「個人カルテ」を活用し、個別対応にたえるデータの蓄積を実行する。	平成21年3月1日 ～ 平成22年3月31日

	<p>●教育力向上・連携</p> <p>法人全体の教育目標を新たに設定し、社会のニーズと乖離しないことは勿論のこと、地域の実務担当者を養成するとともに、学園内進学を可能とする学部学科構成、授業内容・方法を提案する。</p>	
--	---	--

2. 組織・運営

人件費抑制や人員削減を目的として事務組織の一部を連携・統合する。さらに、担当グループ（業務担当者、責任者）を配置し、業務効率化を図る（主な内容は以下のとおり）。



3. 教職員人事制度

平成 20 年 10 月より試行期間として実施してきた新人事制度（トータル人事制度）を平成 21 年度 4 月より本稼働させる。人事制度の導入は、学校法人九州国際大学の設置する大学、付属高等学校、付属中学校の運営の担い手である教職員に、本法人の経営の一端を担うという自らの使命の自覚を促すとともに、教育機関として最も重要な教育力の向上、ならびに組織の活性化を図ることを目的としている。

九州国際大学

1. 教育改革推進・拡充

平成 21 年度 4 月より、「地域社会の即戦力人材を養成」することを目的として新プログラムによる教育を実施する。

また、全学部・学科を対象として、スポーツ指導員副専攻を導入し、実社会で役立つ「リーダーシップ能力」「コミュニケーション能力」等の社会人基礎力をスポーツの側面から養成し、地域社会のリーダー的人材を育成する。

<新プログラムの概要>

		スポーツ指導員副専攻
法学部	リスクマネジメントコース	<p>スポーツ指導員副専攻を履修することで実社会で役立つ「リーダーシップ能力」「コミュニケーション能力」等の社会人基礎力をスポーツの側面から養成し、地域社会のリーダー的人材を育成する。</p> <p>この副専攻にてスポーツ指導者となるための科目を修了すると下記資格が取得できる。</p> <p><日本体育協会></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「スポーツリーダー」資格 ●「ジュニアスポーツ指導員」資格
	不動産管理コース	
経済学部	資格検定試験サポートプログラム	
国際関係学部	ハングルコース	

2. 社会貢献・地域連携

平成 20 年 12 月、北九州市と下関市の 6 大学にて学生への教養教育を共同で実施する「大学コンソーシアム関門」を設立した。平成 21 年度は単位互換制度や関門地域の高校生を対象に、大学への理解を深めてもらうための合同進学説明会などを検討・実施する。

これに関連して、北九州市の学術・研究振興事業大学連携促進助成金活用事業として、北九州地区大学の魅力発掘・発信を目的とした入試・広報業務を中心とする大学間連携推進事業を実施予定。

既に、平成 20 年度は、この助成金を受けて大学職員を対象とした講演会を 2 回実施しており、大学間連携による北九州市域としての広報で募集強化を目指す。

1. 附属高等学校統合計画検討

平成22年度より、男子部、女子部ならびに一貫部を統合した高等学校とすることについて、中高改革特別委員会において平成21年1月22日付け統合方針（中間報告）が答申されたところである。

改革の方向性として、男女共学により、教職員、生徒の力をより結集し、独自性のある一層活力のある学校づくりに取り組む。また、男子部、女子部、一貫部、各々のよき伝統（進学実績、スポーツ実績、生徒会活動、国際交流活動）を継承し、より質の高い教育内容を誇る学校づくりを目指すものである。

平成21年度は、これら中間報告を踏まえ統合計画を取り纏め計画の実行に移す。

2. 年間行事（予定）

	附属高等学校（男子部）	附属高等学校（女子部）
4月	始業式・入学式 新入生オリエンテーション ふれあい研修 実力・模試	始業式・入学式 新入生オリエンテーション 第1回実力試験
5月	創立記念日（1日） 親睦遠足 一学期中間考査 父母教師会総会	遠足 中間考査
6月	文化祭 実力・模試 ラブアースクリーン運動 一学期期末考査	華橋祭 第2回実力試験 期末考査
7月	普通救命講習 生徒総会 保護者会 クラスマッチ 終業式 前期夏期課外授業	クラスマッチ 英会話研修（国際教養コース） 保護者会 終業式
8月	中期課外授業（3年） 夏期勉強合宿 後期課外授業	夏期休暇 夏期学習合宿 始業式
9月	始業式 体育大会 実力・模試	体育祭・夏期学習合宿 第3回実力試験 韓国研修（国際教養コース1年）
10月	二学期中間考査	中間考査 修学旅行（2年）
11月	芸術鑑賞 二学期期末考査	難関大学進学説明会 生徒指導講演会 期末考査
12月	生命の尊厳を考える日 保護者会 終業式 冬期課外授業	特別編成授業開始（3年） 英会話研修（国際教養コース1年） 終業式
1月	始業式 実力・模試	始業式 第4回実力考査（1・2年）
2月	修学旅行（2年） 学年末考査	オーストラリア研修（国際教養コース2年） 学年末考査（1・2年）

3月	卒業式・終了式 海外ホームステイ 春期課外授業 春期勉強合宿	卒業式 クラスマッチ（1・2年） 修了式
----	---	----------------------------

九州国際大学中・高等学校

1. 付属高等学校統合計画検討

上記「九州国際大学付属高等学校の1. 付属高等学校の統合計画検討」に記載のとおり、中・高等学校における一貫部（4年次～6年次）を男子部・女子部統合することについて、検討・実行する。

2. 中学校創立10周年記念事業

中・高等学校は、その教育目標に「①知・徳・体の調和のとれた人間教育」「②個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げ、中高一貫教育（6ヶ年間）の学校として平成12年4月に開学し、このたび、平成21年3月には第4期生の卒業生を輩出し、創立10周年を迎える。これを機に一貫部においては、付属高等学校男子部・女子部と統合して新たな一貫教育を行うべく改革が推進されている。

このように、中・高等学校では、「10年」という節目でもあり、また、中・高改革により新たな一貫教育校として生まれ変わることを期して、記念事業（記念式典・記念演奏会）を実施する。

3. 年間行事（予定）

	付属中・高等学校	
4月	始業式 入学式 授業参観 個人面談	
5月	「北九ウォーク」 皿倉登山（1，2年） 長崎街道ウォーク（3，4年） ぐるっと関門（5年） 太宰府合格祈願（6年） 中間考査	■北九ウォーク 私たちの町「北九州」の歴史や文化に触れることによって、町の様子を知り、私たちの未来を考えます。1・2年次には「皿倉山ボランティア登山」を行います。3・4年次の「長崎街道ウォーク」は木屋瀬～小倉間の25kmを歩き、心身を鍛えます。5年次の「ぐるっと関門」は門司・下関を散策します。
6月	文化発表会 期末考査 生徒会長選挙	■文化発表会 生徒会が中心となって全校あげて行います。ステージでは生徒たちが日頃思っていることを表現するS-1グランプリなど盛りだくさんのプログラムです。また、学年ごとの模擬店や展示など各教室でも文化発表会を盛り上げます。
7月	自然体験教室（1年） 産業科学体験学習（3年） 終業式 夏期課外 保護者会 企業訪問（5年）	

8月	夏期課外 九大オープンキャンパス（5年）	
9月	始業式 体育大会 個人面談	■体育大会 中学生と高校生が協力して作り上げる体育大会は大変盛り上がりま す。全員参加の応援合戦では、高校生が中学生を熱心にリードしてく れます。
10月	授業参観 中間考査 海外体験教室（4年）	■海外体験学習 ファームステイや学校交流を通し、現地の人たちとのコミュニケーシ ョンをはかります。異なる文化・習慣を肌で感じ、日本を違う視点か ら見つめなおすことができます。
11月	芸術鑑賞 近代化遺産体験学習（2年） 期末考査	
12月	音楽祭 終業式 保護者会 冬期課外	■音楽祭 響ホールという大きなホールを借り切って、1年生から3年生がクラ ス単位で課題曲と自由曲を歌います。個人発表ではオーディションで 合格した生徒たちが、日頃練習した成果をステージで発表します。
1月	始業式 百人一首大会（1，2年） 中学校入試	
2月	スキー体験教室（2年） 学年末考査	
3月	卒業式 自由研究論文発表会 英語スピーチコンテスト クラスマッチ 修了式	■英語スピーチコンテスト 全員参加の予選を勝ち抜いた代表者たちが本選大会で発表します。